

1. 活動にあたって

「ゴミ箱」のように、身の回りのどこにでもある物に工夫を加えることによって、作業する量が減って楽になったり、「しかけ」を入れることで楽しくなったりすることに気付く。また、工夫を加えた物を使ってもらい、それから意見を聞くことで、さらに良いものをつくることができることを実感する。意見を聞くことがより良いものづくりにつながると感じ、これからものをつくる時に有効な方法だと考えられるようにしたい。

2. 展開例（全20時間）

時	活動	児童の反応	キーワード
1	「ゴミ箱」①を見て活動の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろそう。 ・ ゴミ箱のような、身の回りのものをもっと便利にしてみたい。 	意欲喚起
2	身の回りのどんなものをより便利にするか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便利にしたいところを見つけよう。 ・ ゴミ箱も足で蓋があげられたら便利。 ・ 開けたら自動でしまるドア。 ・ 晴れたら自動で水やりをする植木鉢。 	協働 改善 問題発見
3 ↳ 6	それぞれ、改善したい物に分かれ、グループでの活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが片付けたくなる本だなは？ ・ 勝手に中身が整理される引き出し。 ・ こういうアイデアがあるけど。 ・ それぞれに磁石をつけておくとか。 ・ 学級文庫の本にも記号をつけるとか。 	問題設定 課題設定 発想力 柔軟さ 探究心
7	もっと改善したい思いをクラスで共有する。 「ゴミ箱」②を見て新たな解決方法を探そうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しかけ」をいれることで行動を変えることができる物をつくろう。 ・ 作ったら使ってもらって、意見をもとに、もっと良くしよう。 	挑戦 気付き ポジティブ 比較の対象
8 ↳ 12	「しかけ」をプラスして、新しいものをつくりだそうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理されていない本棚がきれいになるようにパズルのようにしよう。 ・ ドアを開けたときに閉めてねメッセージや音楽を流そう。 ・ プログラミングを使えばできそう。 	試行錯誤 仕掛け
13 ↳ 14	使ってみて、もっとよくできそうなことを作ったグループに伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミを入れたあとにルーレットやくじ引きしても見ないよね。 ・ 音の大きさを考えたら良くなる。 	使った人の意見

時	活動	児童の反応	キーワード
15 ↳ 16	もらった意見をもとにさらなる改善をしようとする	<ul style="list-style-type: none"> 使ってみた人の意見から、さらによくしていこう。 しかけは、整理整頓やゴミを捨てるなどの行動の前に入れるといいね。 	伝える力 意見集約 改善
17 ↳ 18	改善点を決めて、さらに良い道具につくりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 使った人の意見は具体的で、便利になることにつながるね。 改善したらまた使ってもらいたい。 	改善 実感する
19 ↳ 20	楽しく便利！ 「発明品発表会」を行う	<ul style="list-style-type: none"> よりよくしたポイント、どんな意見が改善につながったのか伝えたい。 	表現力

3. 活動にあたり、留意すべきこと

生活をより良くするために友達と新たなものを作るのではなく、今あるものをより良くしようと活動するようにしたい。また、完成させたら終わりではなく、使った人の意見をもとに更につくりかえようとしている児童がいた場合には称賛したい。